

地域の実情と課題

- ・令和3年度秋田市女性活躍推進企業実体調査では、本市の女性管理職の割合は、係長相当職以上で20.8%であった。
- ・秋田市人口ビジョンの「年齢階級別の人口移動の状況」では、15歳から29歳の若年層において大幅な転出超過となっており、地元への就業・就職の展望を描けず、東京圏に進学・就職している現状が示唆されている。

事業の特徴

- ・市内企業の女性管理職や中堅社員を対象に人材育成研修を実施し、女性がキャリアを積み重ね、組織の中核を担う意識を醸成する。
- ・参加者の継続的な学びと企業の枠を超えた交流を通して、女性キャリア意識と自信を高めるとともに、ネットワークづくりの機会とする。
- ・経営者層や管理職を対象に、男性中心の企業風土や職場全体の意識改革を図るための人材マネジメント研修を行う。

事業の効果

- ・事業目標の参加者数90人に対し、参加者は79人で達成率は87.8%であったが、参加者からは「マネジメントする立場として他の企業の方と同じ悩みを共有したり、一緒に考えることができた」などの声があり、有益な研修であったと捉えられた。
- ・参加者アンケートでは、キャリアアップについて「よく考えられた(63.6%)」「考えられた(36.4%)」と参加者全員の意欲を高めることができた。
- ・人材マネジメント研修では、市内企業において、人材育成と組織改革を進め、女性や多様な人材が活躍し、働きやすい環境作りの意識を醸成した。

目的・目標

市内企業の女性の就業継続と管理職の登用拡大のため、女性が適性や能力にあったキャリアを主体的に描くことができるよう、女性リーダー（管理職や管理職候補者）と女性中堅社員の2つコースによるキャリア研修実施したほか、経営者層等を対象に職場全体の意識改革を図る研修を実施した。

【目標】事業参加者数 90人⇒【実績】79人（△11人）

連携団体

「秋田市男女共生推進会議」

【構成団体】秋田県立大学、秋田商工会議所、秋田人権擁護委員協議会、一般社団法人秋田県助産師会、秋田労働局、秋田県中央男女共同参画センター（指定管理団体－NPO法人いきいきFネット秋田）、あきたF・F推進員、市内事業所ほか

今後の課題

- ・セミナーで実施した企業実態調査では、87.8%の企業が女性が活躍できる職場づくりに取り組んでいる一方で、女性が管理職になるための経験を積む機会が少ないことや管理職登用に消極的であること等が課題である。
- ・女性が固定的な性別役割分担にとらわれず、主体的に働き方やキャリアについて支援するため、地域における様々なスタイルや立場で活躍するロールモデルの情報提供が必要である。

キャリアデザインセミナー

働く女性が自分の強みや役割を理解し、自分らしく働くスタイルを見つけ、企業の中核を担っていく意識を醸成するため、キャリア研修を実施するとともに、企業等の経営者層や管理職が多様な人材が活躍できる組織づくりについて考える人材マネジメント研修を実施し、企業全体で女性活躍の意識の醸成を図った。

コース	開催日	参加者数
リーダーコース	令和6年10月8日 令和6年11月28日	29人（22社）
中堅コース	令和6年10月24日 令和6年12月10日	25人（20社）
人材マネジメントコース	令和6年10月31日	25人（19社）

